

IBM 環境ポリシー

企業倫理に基づく環境リーダーシップの追求

IBM は、あらゆる事業活動において、環境面でのリーダーシップを積極的に追求します。安全で健康的な職場の提供、地球環境の保護、エネルギーおよび天然資源の保全に関する長年にわたるコーポレート・ポリシーは、それぞれ 1967 年、1971 年および 1974 年に明文化されました。これらは、長年にわたり環境と当社の事業を健全な状態に保つことに寄与し、次に掲げる環境ポリシーの目的を支える基盤となっています。

- 安全で健康的な職場を提供し、社員に適切な訓練を施し、安全および緊急時の適切な機器を備える。
- 事業を運営する地域社会の一員として環境保護の責任を担い、安全、衛生、環境などに悪影響を及ぼすような事態や状況には、迅速に責任を持って対処する。事態や状況について、直ちに関係当局に報告するとともに、影響を受ける恐れのある人びとに適切に連絡をとる。
- 原材料の再利用と再生、再生材料の購入、再生可能な包装材およびその他の再生可能材料の使用を通じて、天然資源を保全する。
- 目的の用途で安全に使用でき、エネルギー効率が高く、環境保護を考慮し、再利用、再資源化、あるいは安全に処分できる製品の開発、製造、販売を行う。
- 廃棄物の削減、大気・水質などの汚染防止、安全・衛生面のリスクの抑制、安全で責任ある廃棄物の処分を可能とする運営および技術の開発と改善を含め、環境に悪影響を与えない開発・製造プロセスを使用する。
- エネルギーを節約し、エネルギー効率を改善し、実現可能な範囲内で再生可能エネルギーを優先するなど、事業全体において責任あるエネルギーの利用に努める。
- 世界的な環境保護と理解を改善する取り組みに参加するとともに、適切な汚染防止技術、知識と方法を共有する。
- 世界的に IBM の製品、サービス、専門技術を活用し、環境問題の解決方法の開発を支援する。
- 該当する法規制と、IBM が自主的に定めた要求事項のすべてを遵守するか、またはそれ以上を達成する。事業活動を行っている世界中のどの地域においても、同一で厳格な IBM 独自の基準を設け、忠実に実行する。
- IBM の環境マネジメント・システムと環境実績の継続的な改善に努め、進捗報告を定期的に一般に開示する。
- 本ポリシーの遵守状況について厳格な監査と自己診断を実施し、環境面での実績の進捗を評価し、定期的に取り締り会に報告する。

すべての社員および IBM 敷地内の契約者はこの環境ポリシーに従うものとし、環境、健康、安全に関してなんらかの懸念がある場合は、IBM の管理者に報告する義務を負う。報告を受けた管理者はこれに迅速に対応するものとする。